

## 1 - 4 北海道東部の上下変動

### Vertical Displacements in the Eastern Part of Hokkaido

国土地理院測地部  
Geodetic Division,  
Geographical Survey Institute

北海道東部地方の地殻上下変動に関してはこれまで連絡会報<sup>1), 2), 3), 4)</sup>に報告されている。この報告では1975年5月～10月に実施された水準測量をもとに、その後の上下変動について述べる。

今回実施した水準測量は、弟子屈町(8291)から釧路検潮場(固定点)を径て浜中町(SF192)に至る路線である。第1図は水準点8294(弟子屈町)を仮不動とした上下変動図である。

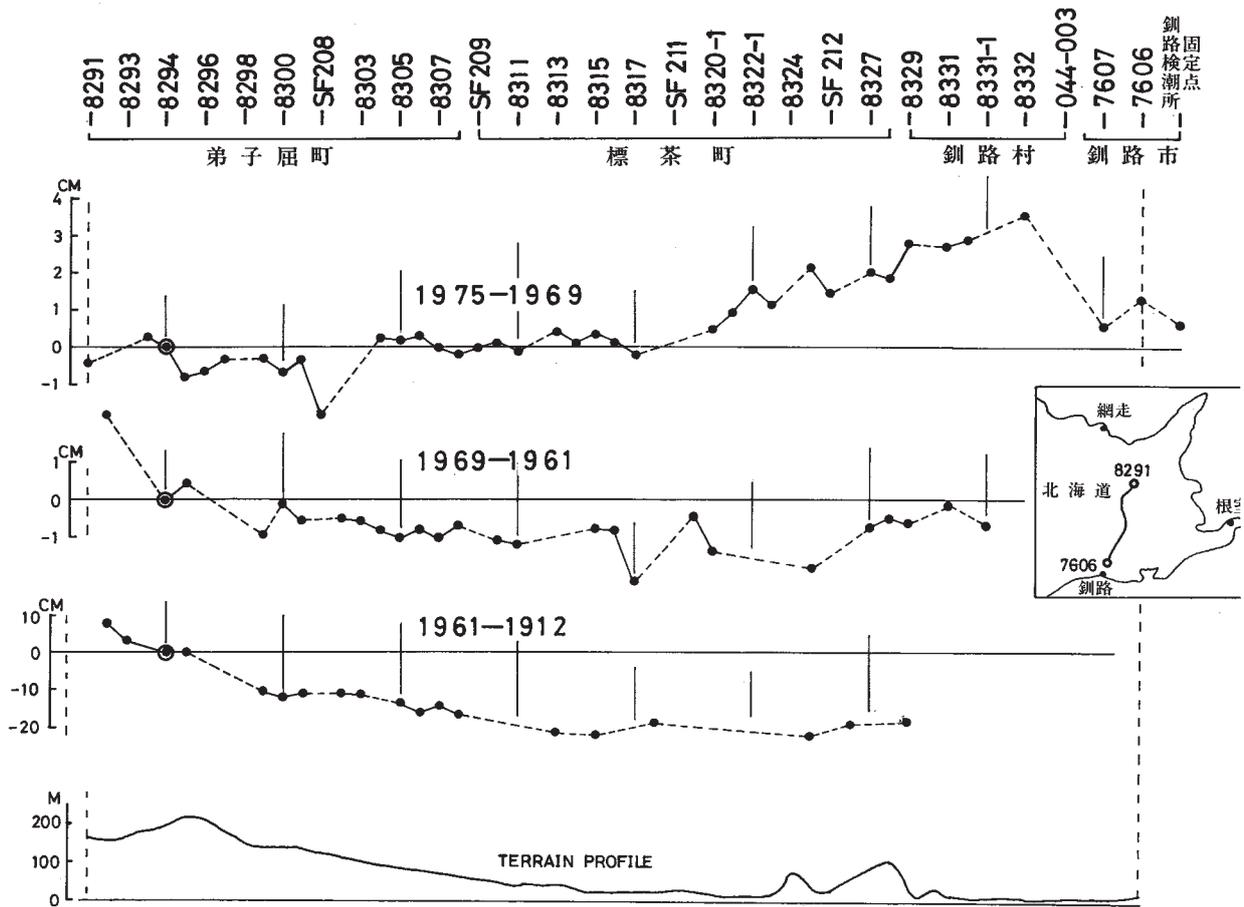
この路線については、標茶町から釧路村にかけて隆起がみられ、年間最大約6mmにおよぶ所もある。この路線では1912年～1961年にかけて南へ向うにつれ沈下が大きくなり、1961年～1969年にかけてほぼ一様な沈下が見られた。今回の結果を更に検討するためには、釧路検潮場の潮位変化とともに、弟子屈町附近の上下変動も考慮する必要があるので、1976年度予定している弟子屈町以北の水準測量が待たれる。

第2図は水準点7606(釧路市)を仮不動とした上下変動を示すものである。1973～1975年間の変動量は東に向うにつれ、若干沈下する傾向が見られないでもないが、その量は小さく水準測量の誤差範囲に入っているので、この2年間に有意な変動はないと考えられる。

次に験潮データによる北海道東部の上下変動を示す。第3図は験潮開始以来の花咲、釧路、浦河、網走検潮場の年平均潮位変化で、比較のため稚内、忍路検潮場のデータも示してある。第4図は最近15年間の各検潮場の月平均潮位変化を生のデータで示したものである。第5図は浦河、網走検潮場を基準にしたときの最近10年間の花咲の潮位変化である。

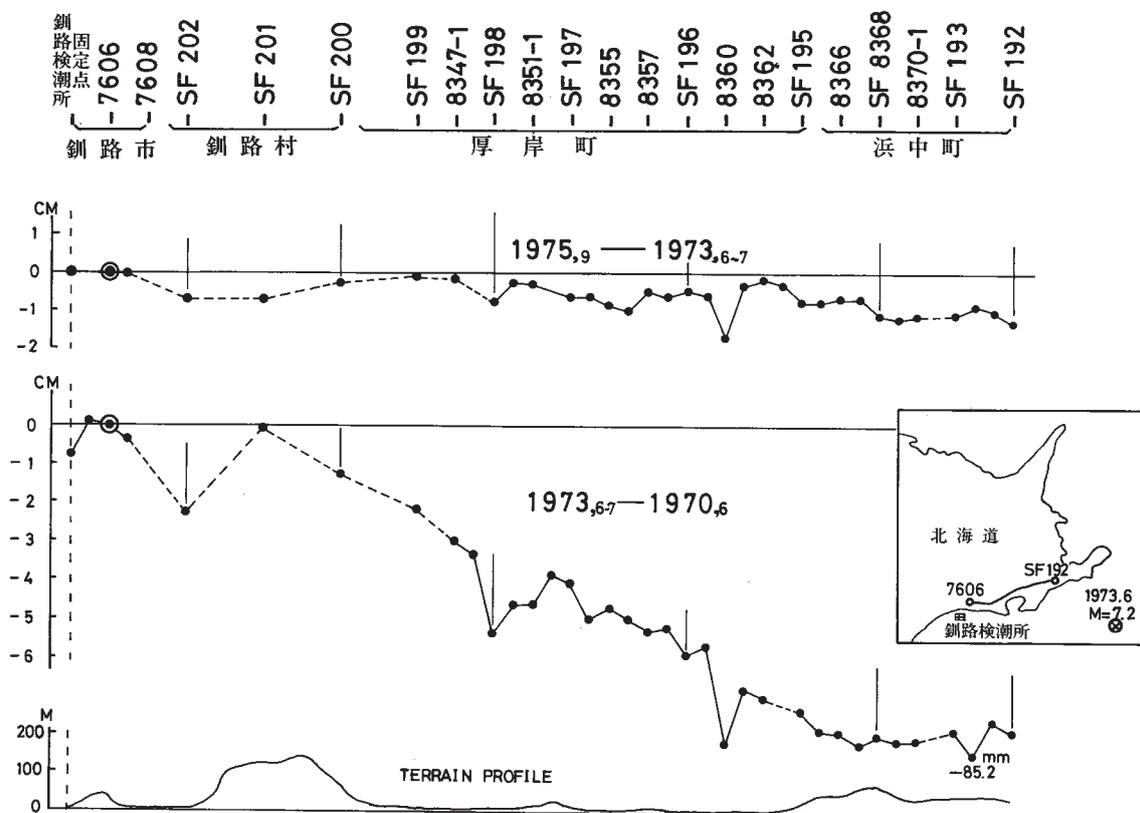
### 参 考 文 献

- 1) 国土地理院地殻活動調査室, 北海道東南部の上下地殻変動, 連絡会報, 3, 1970, 6 - 8
- 2) 国土地理院地殻活動調査室, 北海道東部の上下変動, 連絡会報, 5, 1971, 1 - 2
- 3) 国土地理院地殻活動調査室, 北海道東部地方の地殻変動について, 連絡会報, 7, 1972, 1 - 3
- 4) 国土地理院測地部・地殻活動調査室, 連絡会報, 11, 1974, 7 - 13



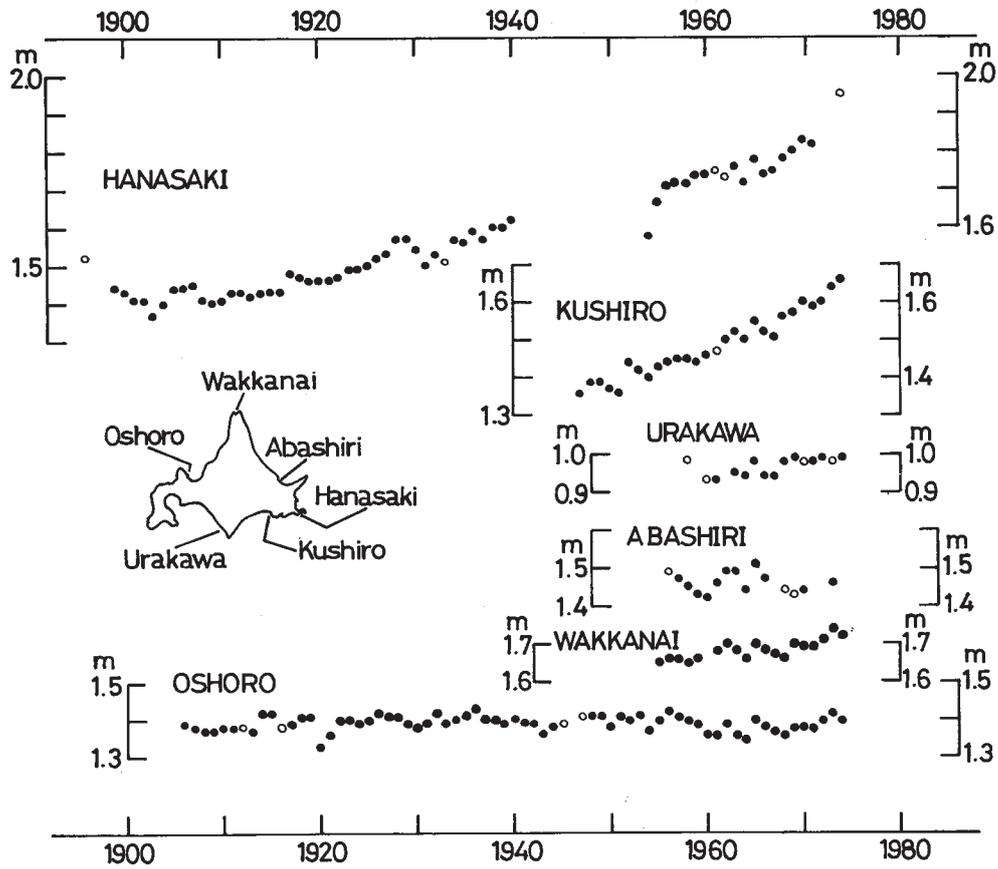
第1図 釧路市-弟子屈間の上下変動

Fig. 1 Vertical movements between Kushiro-shi and Teshikaga.



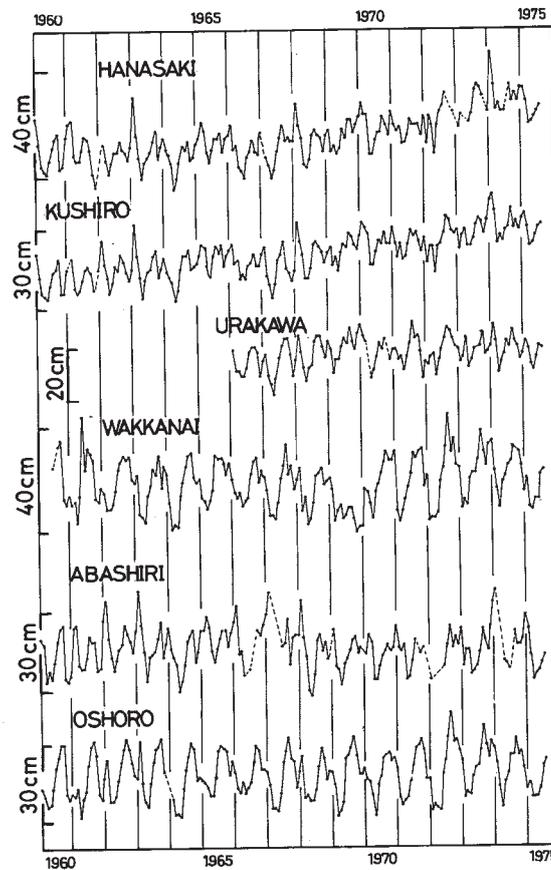
第2図 釧路市-浜中間の上下変動

Fig. 2 Vertical movements between Kushiro-shi and Hamanaka.



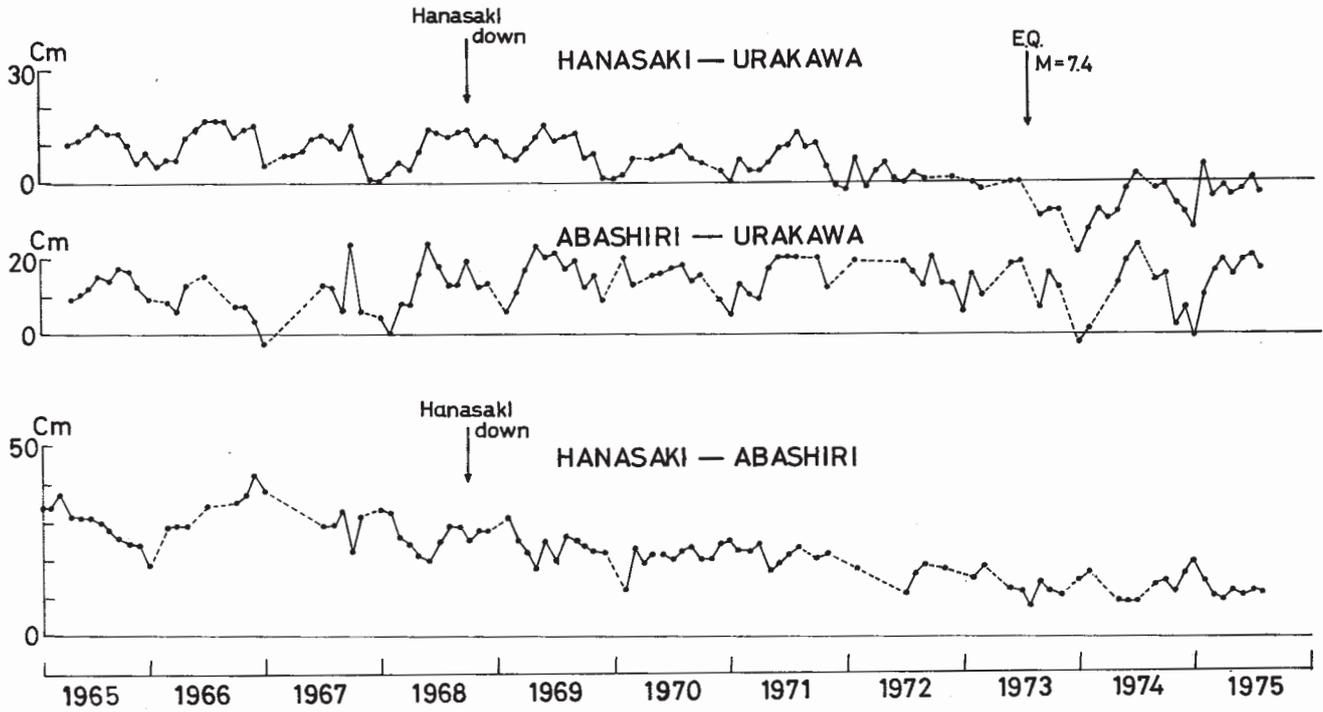
第3図 北海道における年平均潮位変化

Fig. 3 Change of annual mean sea levels in Hokkaido.



第4図 北海道における最近15年間の月平均潮位変化

Fig. 4 Change of monthly mean sea levels in Hokkaido during recent 15 years.



第 5 図 月平均潮位差の変化

Fig. 5 Change of difference of monthly mean sea levels.